[東証プライム市場:証券コード・6167]

## 2023年3月期第3四半期 決算説明資料

# 富士ダイス株式会社

代表取締役社長 久保井 恒之



## アジェンダ

1.	会社概要	P.02
2.	2023年3月期第3四半期 業績概要	P.06
3.	2023年3月期 業績見通し	P.11
4.	中期経営計画の進捗	P.15
5.	株主還元・配当	P.19
6.	ESGの取り組み	P.21
7.	参考資料	P.23







## 会社概要(2022年3月現在)

商号	富士ダイス株式会社
所在地	東京都大田区下丸子二丁目17番10号
資本金	164百万円
代表者	代表取締役社長 久保井 恒之
創業	1949年6月
事業目的	超硬合金製の耐摩耗工具・金型の製造販売
従業員数	1,131名(2022年3月期末時点、連結)



#### 当社の特長 ハイライト

#### 超硬耐摩耗工具市場でトップシェア

国内超硬耐摩耗工具業界では当社は長期に亘り、トップシェアを堅持多品種少量の高付加価値製品の販売が主で、販売価格は安定して推移

業界シェア 30%以上

#### 開発力-生産技術力-営業力が競争力の源泉

お客さまの個別ニーズをカスタマイズできる直販体制 幅広い業種との安定かつ多くのお客さまとの取引実績 設計から原料粉末の調製、焼結、機械加工、製品検査までの一貫生産体制 取引社数 約3,000社

#### 長期的成長を担う高い研究開発力(技術力)

粉末冶金技術を活かし、市場二一ズに応える新材料の開発技術 人手による技術を新鋭設備研究と工法最適化による現行技術との融合

#### コア技術

・粉末冶金技術 ・超精密加工技術

#### 財務基盤:黒字経営を継続し、高い自己資本比率を維持

ネットキャッシュ7,729百万円フリーキャッシュフロー1,541百万円

自己資本比率 76.1% (2022年3月期末)

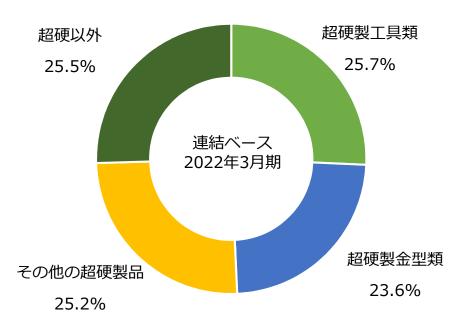


#### 事業内容

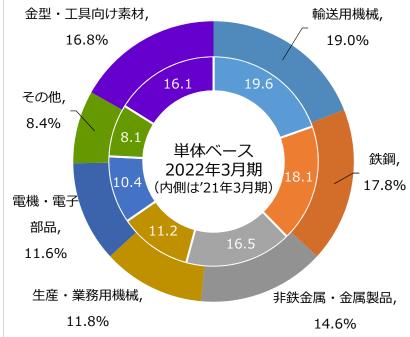
#### 超硬合金製を中心とした工具・金型(耐摩耗工具)製造

#### 幅広い産業分野 における顧客

#### 【製品区分売上構成(%)】



#### 【顧客産業分類区分売上構成(%)】





# 2023年3月期第3四半期 業績概要



#### 2023年3月期第3四半期 ハイライト

連結売上高 連結営業利益

12,694百万円 (前年同期比101.1%)

894百万円 (前年同期比81.3%)

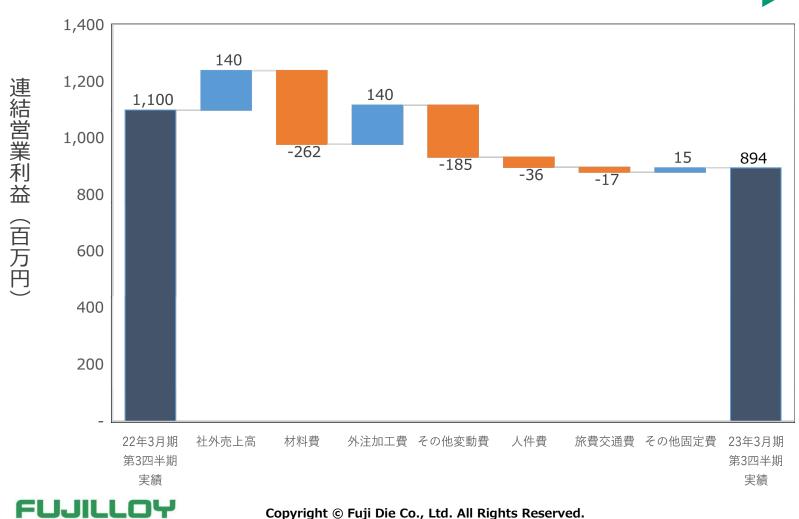
■ 連結売上高は前年同期と同水準を確保したが、原材料高等により減益

	増加要因	■ 半導体関連や自動車電動化関連の需要増
売上高   	減少要因	<ul><li>■ 中国のロックダウン後の経済停滞に伴う需要減</li><li>■ 自動車生産の回復遅れに伴う需要減</li></ul>
利益	増加要因	■ 生産性向上・業務効率化の施策に一定の成果
4.7.111	減少要因	■ 原材料や電力燃料の高騰によりコストが増加



#### 連結営業利益 増減要因(前年同期比)

## 営業利益:前年同期比▲約2億円



## 連結損益計算書サマリー (前年同期比)

※下段は売上高に対する比率 (単位:百万円)

	2022年3月期 3Q累計	2023年3月期 3Q累計	前年同期比
売上高	12,554 (100.0%)	12,694 (100.0%)	101.1%
売上総利益	3,377 (26.9%)	3,302 (26.0%)	97.8%
販管費	2,276 (18.1%)	2,407 (19.0%)	105.8%
営業利益	1,100 (8.8%)	894 (7.0%)	81.3%
経常利益	1,160 (9.2%)	<b>957</b> (7.5%)	82.5%
親会社株主に帰属する四半期純利益	819 (6.5%)	658 (5.2%)	80.4%
超硬製工具類	3,289	3,335	101.4%
超硬製金型類	2,930	3,072	104.9%
その他の超硬製品	3,137	3,208	102.3%
超硬以外の製品	3,197	3,077	96.2%



## 連結貸借対照表サマリー

(単位:百万円)

	2022年3月末	2022年12月末	前期末比増減
流動資産	15,331	14,833	▲498
固定資産	10,048	10,394	345
資産合計	25,380	25,227	▲153
流動負債	4,383	3,745	<b>▲</b> 638
固定負債	1,692	1,703	10
負債合計	6,076	5,448	▲627
純資産合計	19,303	19,778	474
負債・純資産合計	25,380	25,227	▲153



2023年3月期 業績見通し



#### 連結業績計画

- 原材料価格や電力燃料費の高騰によるコスト増を予想
- 固定資産売却による特別利益を計上 (2023年2月27日付「業績予想及び期末配当予想の修正に関するお知らせ」)

営業利益 **11.1億円** (前期比99.6%)

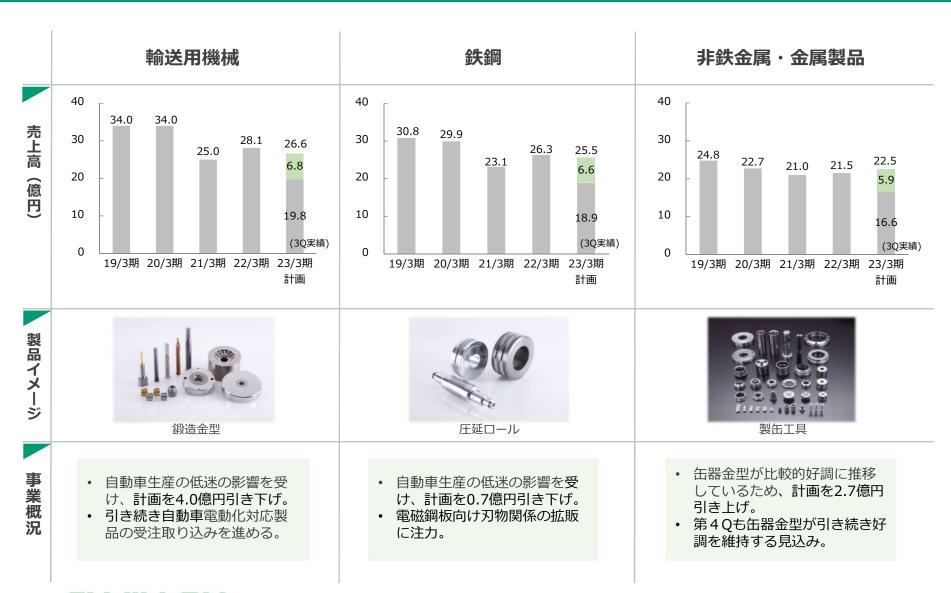
(単位:百万円)

	2022年3月期	2023年3月期 (計画)	前期比
売上高	16,874	16,980	100.6%
営業利益	1,113	1,110	99.6%
経常利益	1,202	1,170	97.3%
親会社株主に帰属する当期純利益	790	1,280	161.9%

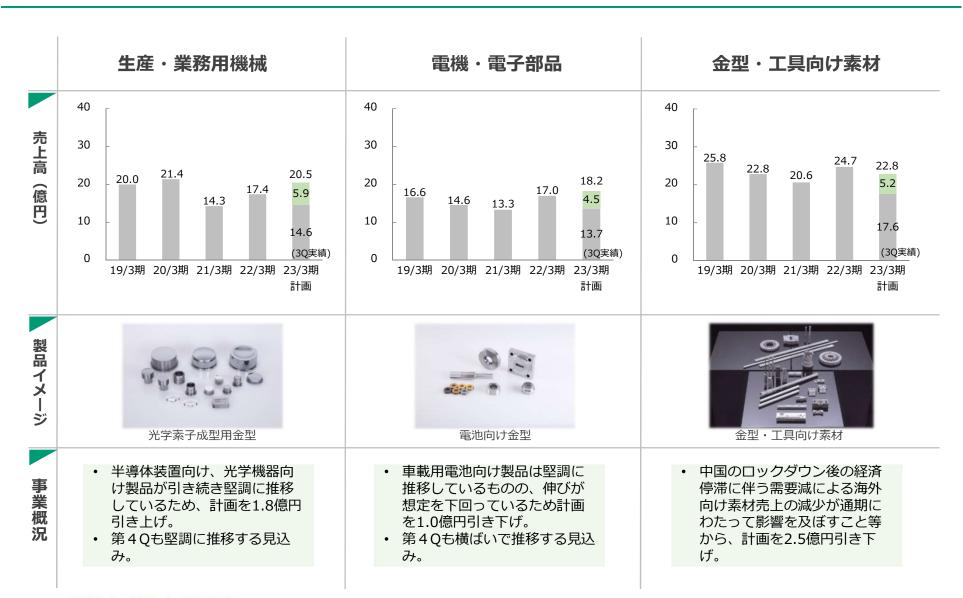
減価償却費	953	950	99.7%
設備投資額(有形・無形固定資産合計)	454	1,840	404.6%



#### 主要産業分類別状況(単体ベース、売上高)業績見通し(2023年3月期)



#### 主要産業分類別状況(単体ベース、売上高)業績見通し(2023年3月期)





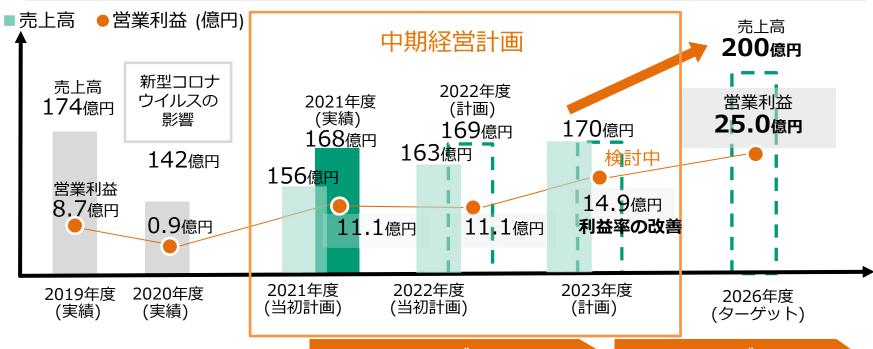
## 中期経営計画の進捗



#### 中期経営計画(2021-2023年度)の位置づけ《連結》

【フェーズ1:2023年度】連結売上高:170億円、営業利益:14.9億円

【フェーズ2:2026年度】連結売上高:200億円、営業利益:25.0億円



#### フェーズ 1

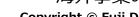
フェーズ 2

更なる利益(率)の拡大

• 売上高拡大、

- ・コロナ禍からの回復
- ・筋肉質な企業体質への転換
- ・次世代新製品・新事業の育成・深耕・営業利益率12.5%以上

・海外事業の強化



FUJILLOY

Copyright © Fuji Die Co., Ltd. All Rights Reserved.

### 中期経営計画の達成に向けて

フェーズ2 (2026年度)

#### 売上高 200億円

#### 営業利益 25億円

収益性を維持しつつ、トップライン拡大を狙う

フェーズ1 (2023年度)

売上高 170億円

営業利益 14.9億円

生産性向上・業務効率化が収益性の向上に寄与

#### 【生産性に関する取り組み】

- 1人当たり牛産性の改善
- ITインフラの整備
- 拠点再編の検討
- ✓ 1人当たりの生産能力向上 による生産量増加及び収 益性の向上
- ①生産性向上・業務効率化

#### 【開発に関する取り組み】

- ・市場ニーズの把握
- ・開発スピード向上
- 自前主義からの脱却

# ③新成長エンジン 【販売に関する取り組み】

- 自動車産業の変化に対応した製品 ラインアップの拡充
- 海外事業のプレゼンス拡大
- ②次世代自動車への対応・拡販
- ④海外事業の強化
- 高付加価値製品の開発・拡 販によりトップラインを拡
- ✓ 需要の高まる分野・地域へ の注力によりトップライン を拡大



創

出

#### 中期経営計画(2021-2023年度): 成長戦略・重要施策

~基本コンセプト~

#### 筋肉質な企業体質への転換、中長期の成長基盤の構築

1 生産性向上・業務効率化

生産プロセスの改善、ITを活用した業務効率化により、利益が出せる少数精鋭による筋肉質な体質を目指す

- 外部コンサルタントを活用した生産効率の改善
- ITを活用した営業手法の導入
- 基幹システム、グループウェア刷新等のITインフラ整備
- 生産拠点の見直しによる拠点再編の検討
- 自立型人財の育成

3

新成長エンジンの創出

顧客の新たな価値創出につながるソリューション 提供により、市場ニーズを先取りした高付加価値 製品の開発

- マーケティング部門と製品開発部門の融合
- 大学や外部研究機関、取引先開発部門との共同開発などのオープンイノベーションの推進
- M&A、業務提携の検討

2 次世代自動車への対応・拡販

市場動向に即したソリューション提供による 顧客の主要サプライヤーとしての地位確立

- マーケティングによる選択と集中 (モーター関連製品、電池関連製品は特に注力)
- 販売/生産/研究開発部門の三位一体となった 取り組み
- 材料開発等による積極的な試作品の投入

海外事業の強化

アジア地域を中心とした海外売上高の拡大、管理 機能の強化による海外子会社の経営安定化

- ローカル人財の育成、オンラインを活用した販売活動
- 海外製造拠点(タイ、インドネシア)の生産性 向上、技術・技能の向上によるアセアン地域に おける競争力向上
- ・ 中国における販売拠点の拡大







#### 株主還元・配当

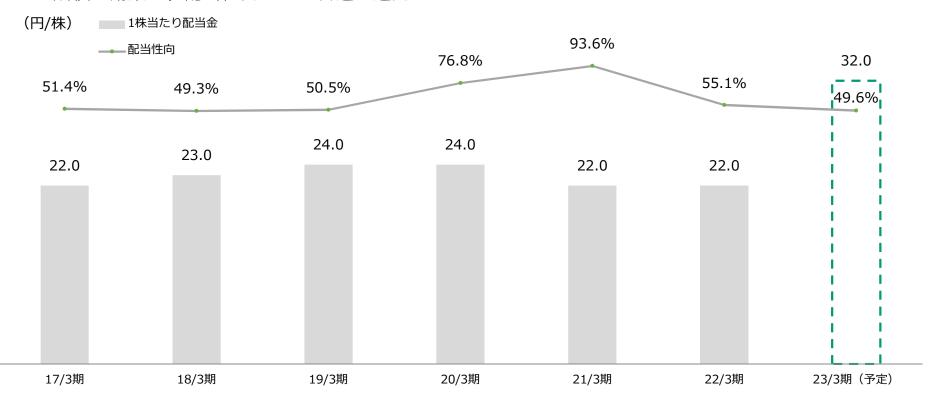
- ・2023年3月期は一株当たり32円の配当を予定
- ・固定資産譲渡による特別利益の計上を加味

(2023年2月27日付 「業績予想及び期末配当予想の修正に関するお知らせ」)

# 年間配当金 32円

#### 【利益配分に関する方針】

安定配当の継続を重要な経営課題の一つとし、利益の状況、将来の事業展開、財政状態及び経営 成績を勘案し、配当性向50%を目途に還元





ESGの取り組み



#### ESGの取り組み

当社グループは、「事業を通じて広く社会に貢献し、幸せな人を育てる」という企業理念に基づき、環境負荷軽減や地域との共生など持続可能な社会の実現に向けた企業統治や諸活動を行っています。

#### Environment 環境

- 環境方針の策定・開示
- 環境マネジメントシステムの認証取得(2004年5月にISO14001認証を取得し、継続登録)
  による環境負荷低減への社内意識啓発と持続的な改善
- 環境調和型製品の提供(日本機械工具工業会による環境調和認定製品7種類)
- 環境配慮製品への切り替え(FSC認証紙やベジタブルインキなど)
- 社用車のエコカーへの切り替え(2022年3月時点で60%切り替え済み)
- 環境関連法令順守の維持・継続(排水、排気、騒音、廃棄物、化学物質等)
- フジロイ・タイランドがCSR-DIW受賞(緑化、ボランティア活動、低所得者就労支援)
- 省タングステン・コバルト合金の開発

#### Social 社会

- 地域社会との共生(献血活動の継続、おおたオープンファクトリー、小学校への出張授業)
- 福祉施設への寄付・慰問
- 品質マネジメントシステム認証取得(2002年11月にISO9001認証取得し、継続登録)による顧客満足度向上の持続的な改善
- 障がい者雇用の環境整備(障がい者農園を活用した野菜生産)

#### Governance 統治

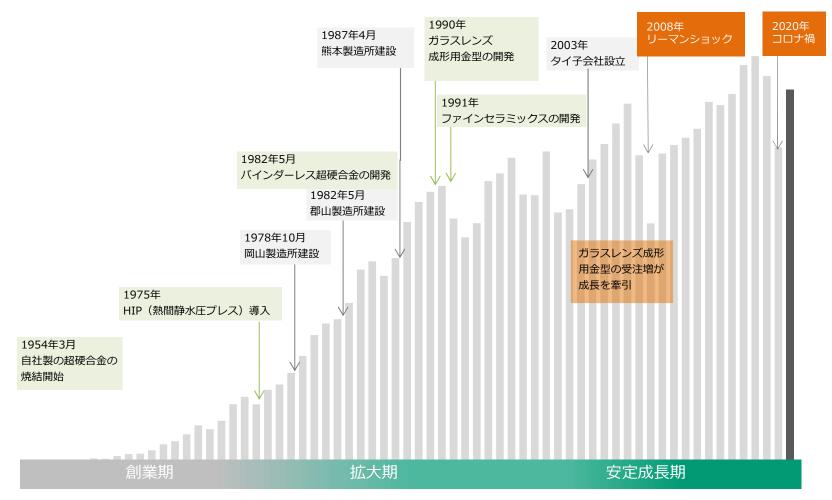
- 企業理念、大切にする価値観、長期ビジョンの策定と公表
- コンプライアンス・リスクマネジメント対応(2か月に1回、コロナ対応含め対策会議を実施)
- コーポレート・ガバナンス報告書を適時更新し開示
- BCP(事業継続計画)の策定と定期的な見直し
- 指名・報酬委員会の設置
- 独立社外取締役を3分の1以上選任
- 譲渡制限付株式報酬制度導入(社内取締役対象)







#### 主な沿革と売上高推移



(注) 2012年度以降は連結売上高



#### 富士ダイスの企業理念・大切にする価値観・長期ビジョン

#### 企業理念

- 事業を通じて広く社会に貢献し、幸せな人を育てる
- 人間尊重、人間中心の経営

#### 基本的な考え方 (私たちが大切にする価値観)

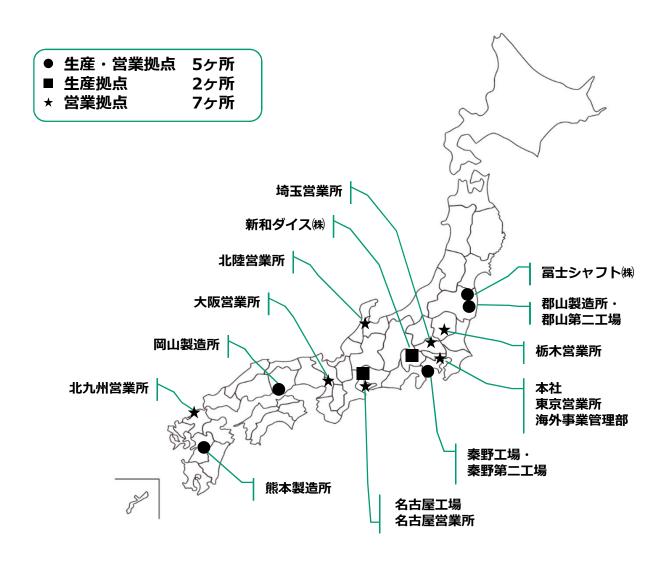
- 報恩感謝
- 和
- 創造と革新
- 誠実
- 質実剛健

#### 長期ビジョン

- 1. 世界のものづくり界のリーディングカンパニー
- 2. 品性ある企業グループ並びに企業人

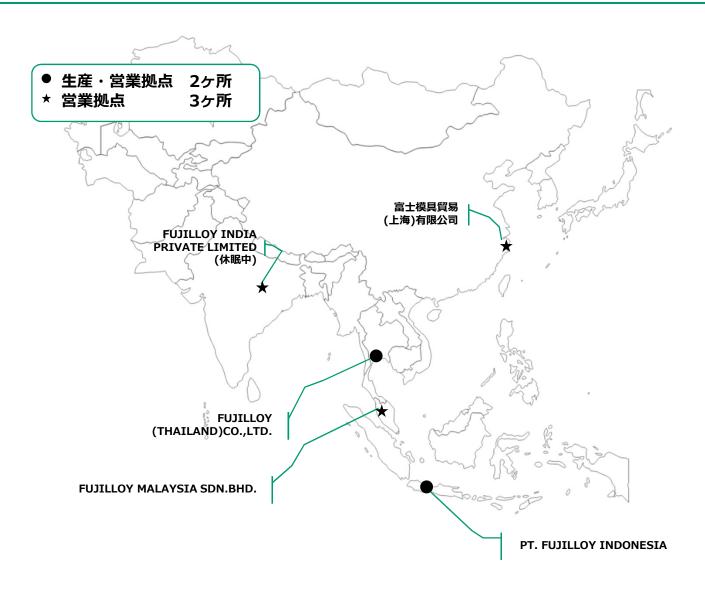


## 拠点ネットワーク(国内)(2022年3月現在)





## 拠点ネットワーク(海外)(2022年3月現在)





#### 2023年3月期第3四半期までの事業環境

#### 鉱工業生産指数と超硬耐摩耗工具出荷

2020年度と比較すると回復基調にあるが、まだ両指数ともにコロナ禍前の水準には戻っていない

#### 鉱工業生産と超硬耐摩耗工具出荷 指数推移

**→** 超硬耐摩耗工具出荷指数 (2015年=100) **→** 鉱工業生産指数 (季節調整済み) (2015年=100)



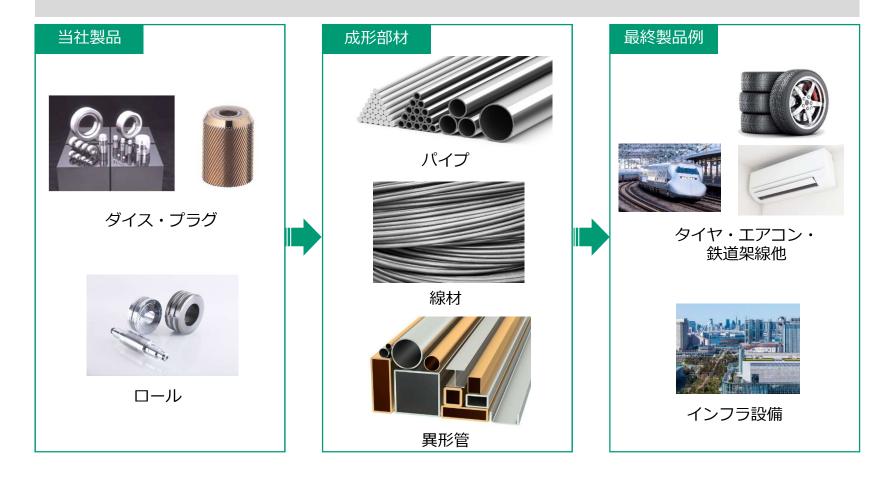
出所:日本機械工具工業会 『超硬工具統計』 経済産業省 『鉱工業指数』



#### 代表的な製品例

#### 引抜・押出・圧延加工をする工具

輸送用機械、建築材料やインフラ関連の設備等へ使用



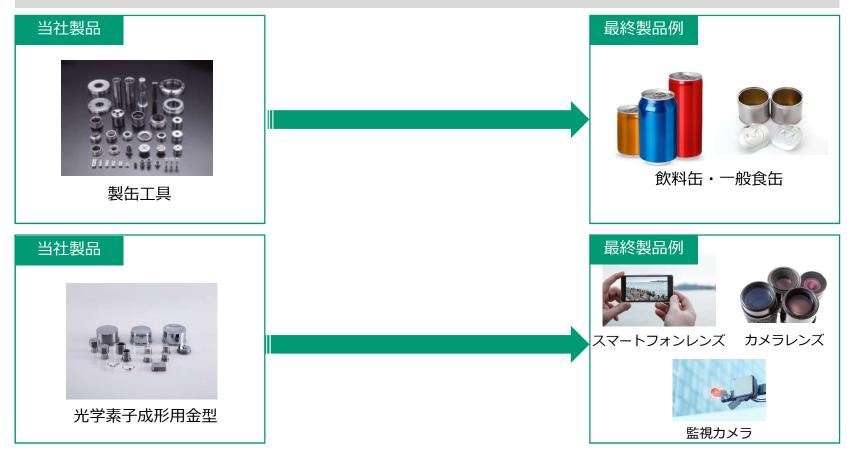
#### 代表的な製品例

#### 飲料缶・一般食缶を製造する工具・金型

アルコール飲料や清涼飲料等の飲料缶を作る金型

#### 光学素子を製造する金型

一眼レフ・通信用・監視カメラのレンズを生産する金型



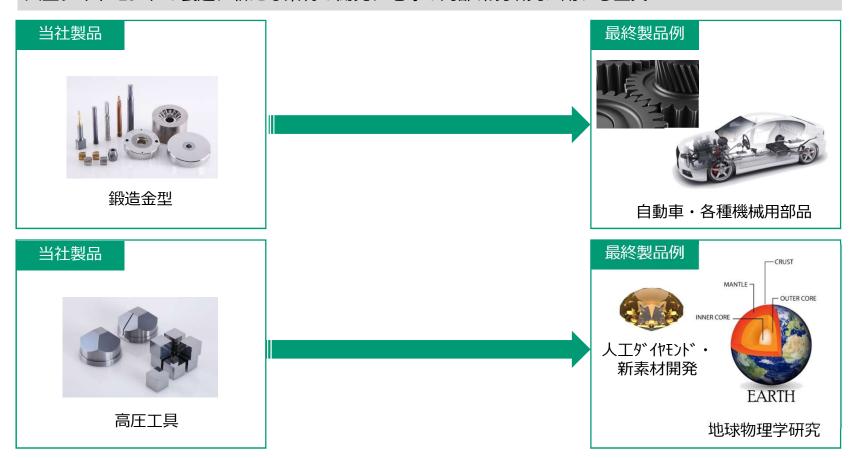
#### 代表的な製品例

#### 鍛造用工具・金型

二輪車や四輪車、各種製造機械等の部品を作る金型

#### 高圧工具

人工ダイヤモンドの製造、新たな素材の開発、地球の内部環境研究に用いる工具



#### 中長期的成長に向けた研究開発の方向性

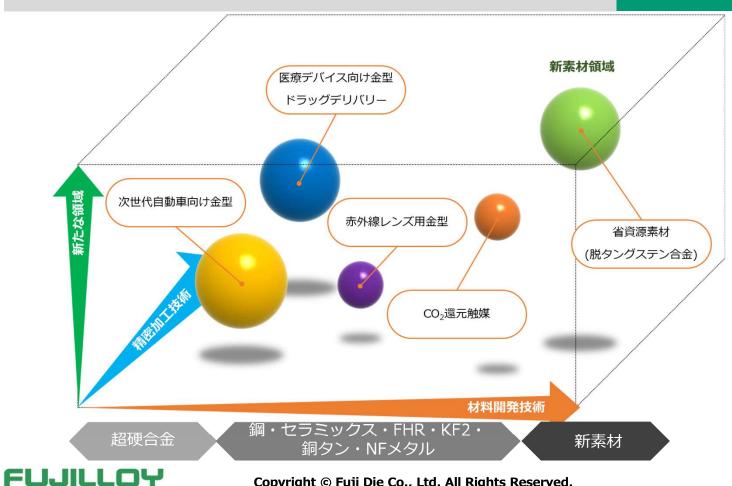
#### 粉末冶金技術

超硬合金に限定しない、新材料開発の加速

#### 超精密加工技術

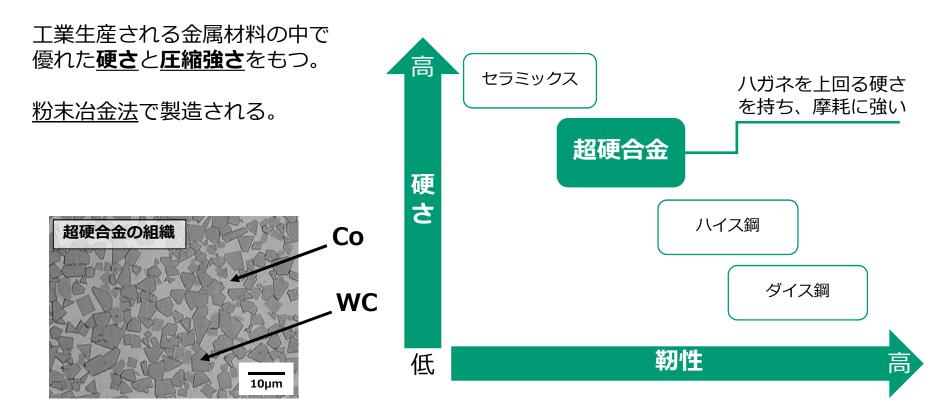
現行技術の次代の先端へ:新鋭設備研究と工法の最適化

## 新成長エンジン の創出



#### 超硬合金とは

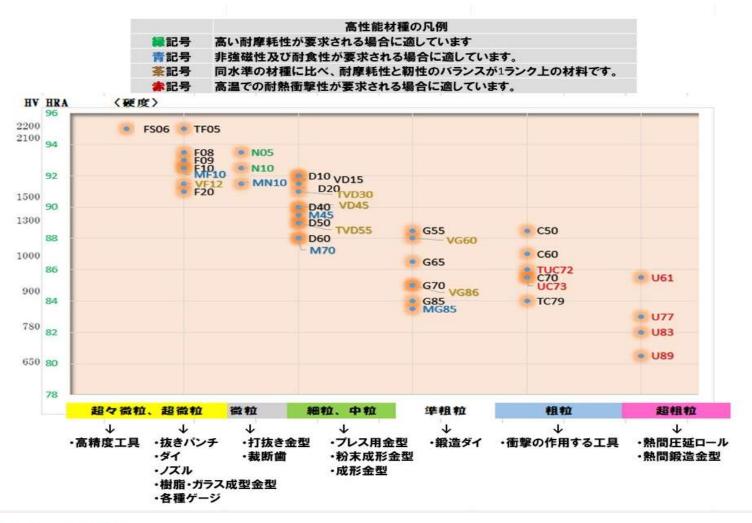
非常に硬く高耐熱性のWC、TiC、TaCなどを、靭性の大きいCoまたはNiでセメントした合金。





### 当社超硬合金の特徴

富士ダイスが製造する超硬合金の材種特性のマッピング(WC粒度×硬さ)を示します。 超々微粒から中粒、超粗粒までお客様の用途・目的に最適な粒子径や硬さの材種を提供しています。





## 業績の推移 1/3

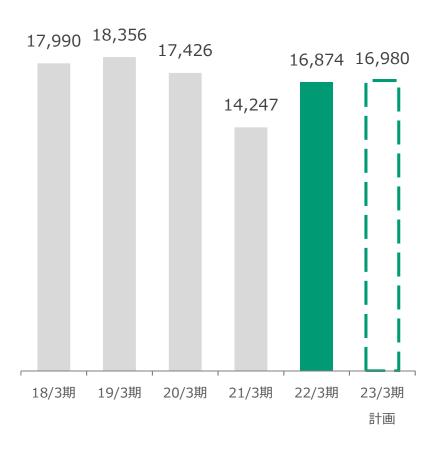
売上高

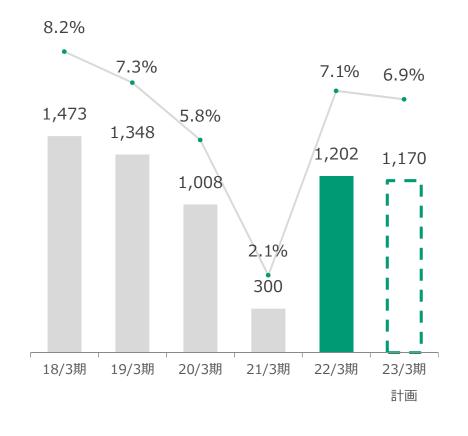
経常利益

(百万円)

(百万円)

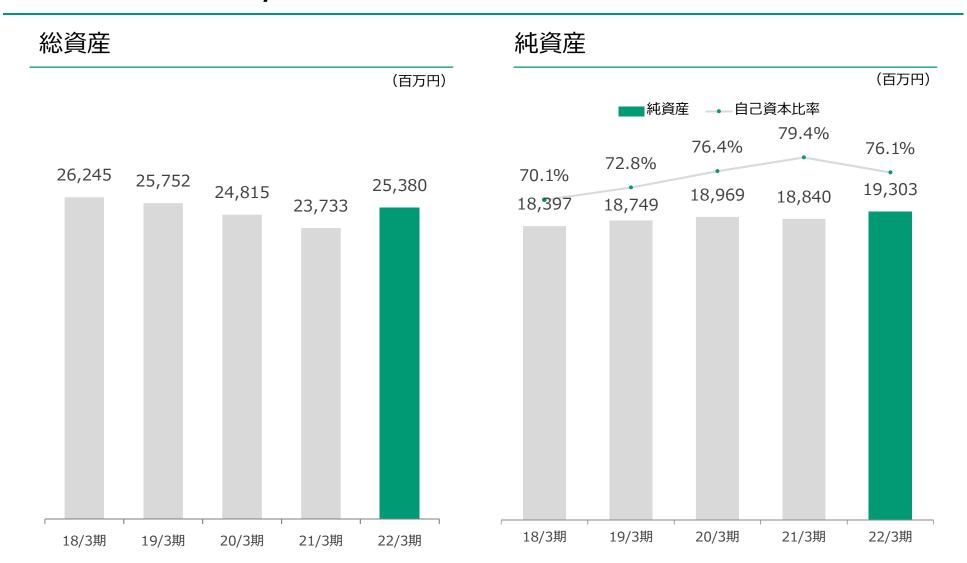








## 業績の推移 2/3

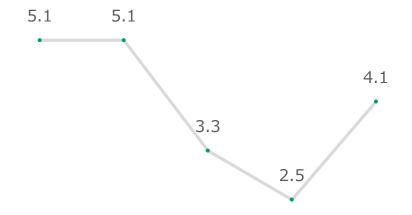




## 業績の推移 3/3

ROE

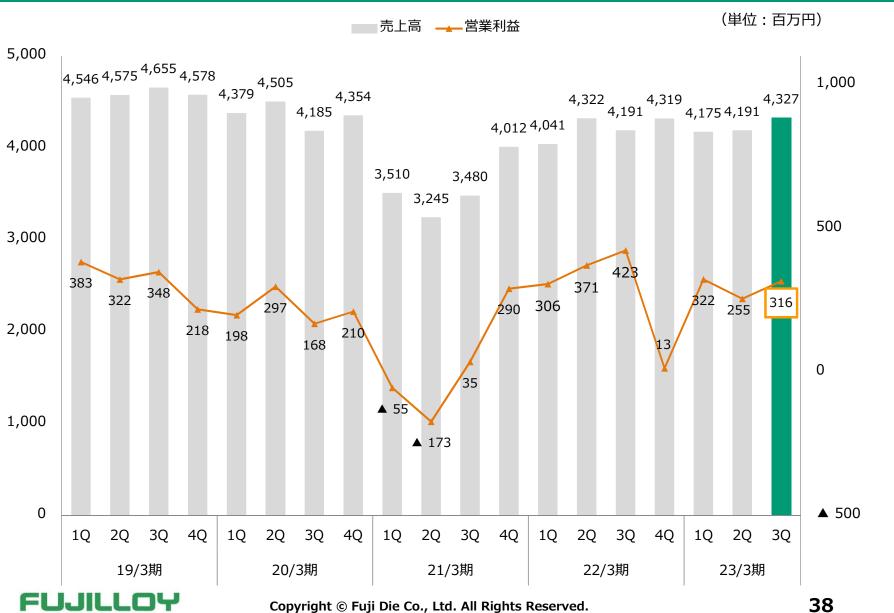
(%)







#### 連結四半期業績推移



## JIMTOF2022(工作機械見本市)出展

日 程:2022年11月8日(火)~13日(日)

概 要:2年に1度行われる国際的な工作機械見本市(来場者数11万人)

#### サステナブル社会の実現に向け

- 「FUJILLOYでモノづくりを変える」をコンセプトに新製品を発表
  - カーボンニュートラル・省資源への対応
- 省タングステン・コバルト合金、モーターコア金型用超硬合金



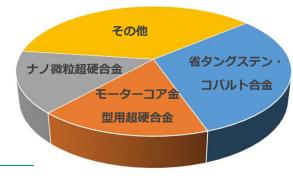
## 抗折力×刃立て性

ナノ微粒超硬合金



#### 来場者が注目した製品

(商談来場者へのアンケート結果)



#### 省資源×軽量 ×高硬度・高靱性 - 他的な現場合を比べ、多少音気のシグスラン(W)とコバルト (Co)の登別者と大概に対象、信義でものながら、現場合金に名の得る 野性を実施し、現場でもり、なり、

省タングステン・コバルト合金



#### 省タングステン・コバルト合金 (サステロイ:ST60)

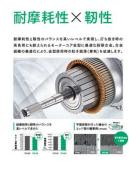
超硬合金の主原料であるタングス テン、コバルトの使用量を大幅に 削減した、環境配慮型、新材料。

#### ナノ微粒超硬合金

- 材料粉末を限界まで微細化することで、硬さと折れにくさを高いレベルで両立した材料。
- 刃物工具の長寿命化に貢献する。

#### モーターコア金型用超硬合金(VG48)

- 耐摩耗性と粘り強さを高いレベルで両立した新材料。
- 打ち抜き時に高負荷が掛かるモーターコア金型に最適。



モーターコア金型用超硬合金



### 直近のメディア掲載記事

用分析デバイス向けのクロ流路を用いた医療

富士ダイスは、マイ

冨士ダ

イス

う。臨床現場即時検査の大分析デバイスは、ガラスなどの材料上に形成した微細な流路を利用して分析などを行めれるとを行いる。

ッチ精度1公が(マイで普及が進む。富士ダ イスでは流路配列のピ

ラスの成形金型素材と

(POCT) や血液検

で成形するため、金型のコア材料との熱膨張のコア材料との熱膨張いなどの問題が発生しいなどの問題が発生しいなどの問題が発生しいなどの問題が発生しいなどの問題が発生した。

一方、ガラスは高温 型の加工も可能。 型の加工も可能。

| クロは100万分の

できる。また 平板上に微細

面の形状精度

こうした問題を

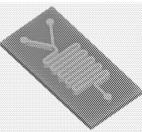
離型容易なガラス成形金型

#### ●日刊工業新聞 2022年2月28日

を採用し、高精度かつを採用し、高精度が引きるとも精度を期待できるとも精度を期待できるとも特別をがある。同社ではエッチング加工と比べても特度を期待できると 直彫り微細加工技術を始めた。超硬合金のがラス成形金型の提案 張係数を持つ金属材料と、ガラスに近い熱膨

## 口流路活用

医療用分析デバイス向け



ジ) 路のイメート が表示したどの インイクロで インイクロで インインロ流路

解決した。 (を目指しており、マ同社は事業領域の拡

●熊本日日新聞 2022年4月21日

> 之社長(中央)ら=20日、県庁結んだ富士ダイスの久保井恒向けて、南関町と立地協定を 熊本製造所での

ら、新棟建設で需要に対応の需要が増えていることか 車(EV)の部品向け金型 で同町と立地協定を結ん 棟を新設する。20日、 金素材をつくるための冶金南関町の熊本製造所に、合 売の富士ダイス(東京) していることや、 新棟建設で需要に対応 既存の冶金棟が老朽化 電気自動

関連の需要増も期待してい とについて「今後、 た。半導体関連の金型や素 菊陽町に工場を新設する 体電路製造(TSMC) 供給していきたい」と述べ 自動車のモーターやバッテ 材も製造しており、台湾積 久保井恒之社長は「電気 付加価値の高い製品を 向けの需要が増えてお

ニュース記事は、スマートフォン やタブレット端末で右QRコード からご覧になれます。



南関町に新工場富士ダイス熊本

産業用工具・金型製造販

E>需要增対応

5人を雇用する。 を見込む。

投資額は

地元から新たに

#### ●日刊工業新聞 2023年3月3日

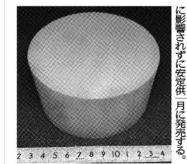
## レアメタル9割削減

富士ダイス、新合金開発

を抑え、地政学リスク

が偏在する希少金属 金を開発した。 産出地有量を9割削減した合

(レアメタル)の使用



希少金属の含有量を9割

であるタングステン 軽量化できる。 半分と軽量で、 具や大型金型を大幅に 回転工

ばモーターの負荷軽減1程度とし、重さはほぼ14分。回転工具に使えいくさを汎用超硬と同等 給する。硬さと欠けに による電力削減や、回ばモーターの負荷軽減 性向上が見込める。 4転数の増加による生産 は、硬さ (HRA) が が34谷は(同17-45谷 88・2 (汎用超硬は88 開発した新合金「サ

超硬合金に比べタング 超可合金に比べタング

大型金型など大幅

に

|軽量

ST60は重さが超硬の が課題。サステロイ 重量が大きく取り扱い 力選別ができる。 あるため放電加工や磁 が)。導電性や磁性が さ試験でのクラック長 超硬製の大型金型は

> 合金の代替品になると顕在化した際には汎用 とみており、 高騰にさらされにくい が地政学リスクや価格 高騰の懸念がある。 富士ダイスは新合金 リスクが

自動車(EV)のリチ 自動車(EV)のリチ 自動車(EV)のを中国が占める。

40

#### Copyright © Fuji Die Co., Ltd. All Rights Reserved.

#### **FUJILLOY**

#### 免責事項について

当資料は、冨士ダイス株式会社の現状をご理解いただくことを目的として、 作成したものです。当資料に記載した内容は、一般的に認識されている経済・ 社会等の情勢及び当社が合理的と判断した一定の前提に基づいて作成して おり、経営環境の変化等の事由により、予告なしに変更する可能性がありま す。

また、当資料には見込み、予測及びリスクを伴う想定に基づくものがあり、 当資料に記述されている内容とは異なる結果を生ずる不確実性(市場、金利、 為替の変動といった国内外の経済状況等)が含まれております。 今後、新たな 情報や出来事等が発生した場合、当社は本資料の更新・修正を行う義務を負う ものではありません。 投資に関する決定は、利用者ご自身の判断でなさるよう お願いいたします。

尚、情報の掲載には細心の注意を払っておりますが、情報の誤りや改ざん、 データのダウンロード等で被ったいかなる損害についても、当社は一切責任を 負うものではありません。

